

HOT TOPICS

本が教えてくれること

心を豊かにしてくれる、
良書との出会いを楽しもう！

CHECK 1

先生方のお薦め図書

CHECK 2

先生方・図書館員のお薦めコーナー



information

2010年度前期

図書館展示と講演会

図書館3階メインカウンター前の展示コーナーでは、年に数回展示を行っています。展示に関連した講演会も年2回実施しています。貴重な資料、興味深いお話を聞き取れるチャンスです。みなさんの参加をお待ちしています!(いずれも無料です)

展示 「近代の老いと社会」

5/10(月)~7/3(土)

戦後の日本は農村社会から都市型社会へと変化し、核家族が中心の社会となりました。お年寄りの世話は施設へと場を移し、家族から専門家に委ねられるようになりました。講演では、近代社会と老い、高齢者ケアにおける家族と専門職者の役割について述べたいと思います。展示では「老い」に関する民俗学的、社会学的視点からの著作や、ルポルタージュを取り上げました。自らの課題として関心を持っていただければと思います。

講演会 「老いに寄り添って生きる」

6/15(火)

受講料無料 要事前申し込み
(スクールバスでお越しの方に限ります)

【時間】13:00~14:30 【定員】60名

【講師】梅花女子大学 看護学部
教授 河村 圭子

戦後の日本は農村を中心とした社会から都市型社会へと変化し、お年寄りとの同居が一般的であった社会から核家族が中心の社会となりました。家庭内で行っていた介護や看取りは福祉施設や病院へと場を移し、家族からケアの専門家へと委ねられるようになりました。このような時代において、家族が担うべきものは、それを支えるケア専門職の役割は何なのでしょう。来たるべきに備えて、またはその只中で、老いに寄り添って生きることを考えてみたいと思います。

今後のschedule

■「所蔵資料展」(仮題)

【展示期間】

- ・2010年4月2日(金)
~4月24日(土)
- ・2010年7月中旬~9月下旬


■児童文学関係の資料の展示を予定しています。児童文学科は開設28年、その学びを引き継ぐ心理こども学部こども学科開設を記念して、歴代の学科教員の著作物、卒業生の出版物、学科が購入した貴重なコレクションなどを展示する予定です。

【展示期間】2010年10月中旬~11月下旬

【講演会】展示に関連する講演会を開催予定です。

本が教えてくれること

人は、一冊の本から多くのことを学びます。
 授業に、また日々の暮らしに役立つ、先生方のお薦め本を集めました。
 コーナー紹介も参考に、お気に入りの一冊を探してみてください。

※  マークの資料は図書館に所蔵しています。

新学部 看護学部

オススメ

看護学科 登喜 和江先生

DVD『おくりびと』

第81回アカデミー賞外国語映画賞
 第32回モントリオール世界映画祭グランプリ
 第32回日本アカデミー賞最多全13部門優秀賞

滝田洋二郎監督；小山薫堂脚本
 セディックインターナショナル 2008年
 【所在:3階DVDビデオ 請求記号: DVDビデオII1384】 

本作品における死への旅立ちの整えは、まさに看護技術の美「エレガント」を追求した手技です。看護の要素である「知識」「技術」「態度」、その何れをも具現化した「おくりびと」を看護技術の視点で視聴してみると、患者さんに提供する看護技術の奥深さに改めて気づかされる作品です。看護を学ぶ学生に「いちおしDVD」です。



図書館員のオススメコーナー ▶▶▶ 3F DVD・ビデオ



『おくりびと』をはじめ、映画やアニメといったDVDがあるのが、このコーナー！もちろん看護学科生にお役立ちの看護技術を習得・支援するためのDVDも揃っています。それらを視聴する施設機器も完備しています。

観たかった映画を観るチャンス。
 DVD・ビデオコーナーを有効活用して、
 空き時間を楽しく過ごそう！



新学部

心理こども学部

オススメ

こども学科 鷗野 祐介先生

『子どもとあそび：環境建築家の眼』

仙田満著
 岩波書店 1992年11月刊
 (岩波新書；新赤版 253)
 【所在:2階「岩波新書」】 

こどもは遊びの天才と言われます。しかし、緑地や空き地のない街、交通事故の多発する道路、塾やおけいご事に追われる忙しい毎日など、こどもたちを取り巻く環境は彼らから遊びをどんどん奪っています。長年にわたってこどもの遊び環境の調査とそのデザインに携わり、現在こども環境学会会長を務める著者のメッセージは、今こどもたちのために必要なことは何か、自分にできることは何かについて改めて考えさせてくれるでしょう。



オススメ

心理学科 杉岡 津岐子先生

『ユング心理学入門』

河合隼雄著；河合俊雄編
 岩波書店 2009年5月刊
 (岩波現代文庫；学術220、「心理療法」コレクション；1)
 【所在:2階 請求記号:146.8IIKA93】 

本書はその題名に見られるように、ユング心理学の入門書である。難解であると思われがちなユング心理学であるが、具体的な事例や夢を引用しながら述べられており、その語り口の面白さ、感性のすばらしさ、内容の面白さに引き込まれ、ユング心理学の面白さの一端を知る。そしてまた、何度も読むたびに違う発見がある、実は最も深い臨床の書でもある。河合隼雄の臨床の原点であり、そのところが生きている書である。



図書館員のオススメコーナー

▶▶▶ 2F 新書

「新書」とは、文庫より少し縦長サイズの本で、多様な分野の専門家が著者となり、それぞれの分野の内容をコンパクトにまとめた、どこでも携帯しやすく読みやすい本です。

本学図書館では、書店と同じように、新書名別・番号順に並べています。

図書館員のオススメコーナー

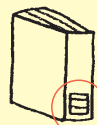
▶▶▶ 2F 心理学

心理学は主に2階の分類記号140～146の書架付近にあります。幅広い分野*を含む心理学、身近なテーマの本も多いので、コーナーに行って気になる本を探してみてください？

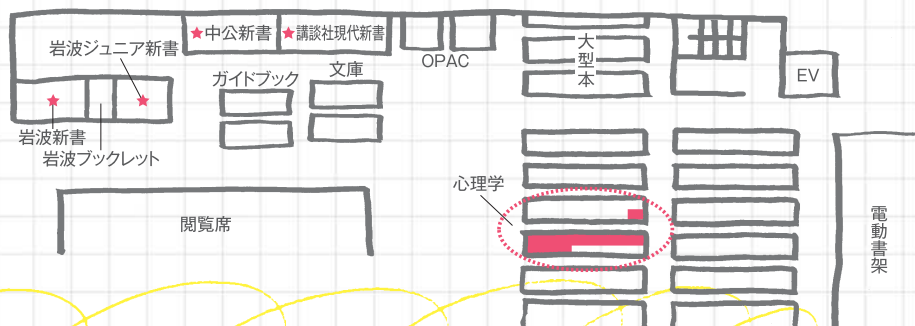
*教育心理学(分類記号371.4)などは別の書架にも資料があります。

請求記号って？

請求記号とは、皆さんが図書館の本を探すための手がかりとなるものです。OPACで検索し表示された請求記号をメモして書架に探しにいくてください。図書館の本はこの請求記号順に並んでいます。



〈請求記号〉	
146.8	… 分類記号
KA93	… 図書記号
	… 巻次



新書や専門書は、
 きっと学びを深めてくれるはず。

たくさん読んで、
 応用力を身につけよう！



現代人間学部

オススメ

人間福祉学科 角谷 慶子先生

『リハビリへの道:ピレッジから学ぶ』

マーク・レーガン著；前田ケイ監訳
金剛出版 2005年4月刊
【所在:2階 請求記号:369.281R12】

近年精神障がい福祉の領域においてリハビリという言葉をよく用いられるようになった。リハビリとは精神病等の重い病からの回復を意味するが、それは単に症状が消失するだけでなく、「病気を持ちながらもかけがえのない命を生き、社会の中で自分自身の人生を歩むこと」をいう。

著書のレーガン氏は米国ロサンゼルス市のピレッジという社会復帰施設に勤務する精神科医である。本書の序文を執筆しているUCLAロサンゼルス校のリバーマン教授の盟友でもある。私はかつてリバーマン教授の依頼で、京都で彼の講演会を企画させていただく機会を得たが、良い意味で医者らしくないとも気さくな方だった。同行されていた当事者の話からも、彼が皆に慕われ、リハビリの理念を臨床の場で実践していることが実感され、感銘を受けたのを覚えている。また訳者の前田ケイ先生は私が尊敬するソーシャルワーカーの一人で、彼の説くところのリハビリを十二分に伝えて下さり、読みやすく、解りやすいので是非一読をお勧めしたい。



オススメ

心理学科 杉岡 津岐子先生

『無意識の構造』

河合隼雄著
中央公論社 1977年9月刊
(中公新書:481)
【所在:2階「中公新書」】

臨床に入るきっかけになったのがこの本である。河合隼雄の文章は決して難しくない。ユング心理学を中心として人の心の構造を述べた本であるが、何より面白く読んでいくうちに、いつのまにか自分について考え始める。



オススメ

生活環境学科 後藤 芳子先生

『免疫道場:病気にならない体をつくる50講』

安保徹、鬼木豊著
幻冬舎 2006年10月刊
【所在:2階 請求記号:491.81A14】

「風邪をひきやすくなった」「抵抗力が落ちたかな?」よく口にせるセリフだが、ここで言う抵抗力とは、まさしく「免疫」のこと。

私たちの体は、外部から侵入してくるたくさんのウイルスや細菌と常に戦っている。これらの敵を攻撃し、体を正常な状態に保とうとする防御システム、これが「免疫」なのだ。

是非この機会にそのシステムを学んで下さい。



図書館員の オススメコーナー

▶▶▶ 2F
分類記号491.8

癌やエイズ、アレルギーもみんな「免疫」が関係していることをご存知ですか?自分の体のことを知り、上手に付き合う方法を学ぶには、分類記号491.8の資料をお役立てください。

文化表現学部

オススメ

国際英語学科 安達 克郎先生

『ネイティブスピーカーの英文法:英語の感覚が身につく』

大西泰斗、ポール・マクベイ著
研究社出版 1995年3月刊
【所在:5階北 請求記号:835II066】

英文法と聞くと無味乾燥で堅苦しい説明文が並んだ本を想像する人が多いと思いますが、この本は、英語を母国語とする人々が様々な語や表現を使う際に、どのようなイメージを頭の中に描きながら使っているかということをわかりやすく説明している本です。

大橋 千秋先生のオススメコーナー

▶▶▶ 5F北および3F 水嶋純子文庫

本学在学中の平成9年、不慮の事故で亡くなられた水嶋さんのご遺族からの寄付を基金として設けられた英米文学、英語学等に関する書籍・資料のコーナーです。特に国際英語学科の皆さんは大いに活用して下さい。



オススメ

児童文学科 加藤 康子先生

『浮世絵に見る江戸の子どもたち』

くもん子ども研究所編著
小学館 2000年11月刊
【所在:2階 請求記号:384.5IHKU39】

日本の江戸時代には、木版印刷による絵草紙やおもちゃ絵が豊富にあり、今日の絵本などの出版文化の源となっています。子ども文化を表している浮世絵と共にビジュアルで紹介し、見るだけでも楽しい本です。

加藤 康子先生のオススメコーナー

▶▶▶ 4F南

4階の南側に、たくさんの児童文学書、絵本、マンガがあるのは、本学図書館の一つの特徴です。



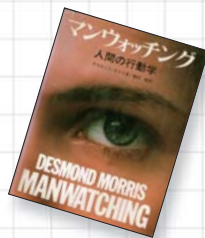
オススメ

日本文化創造学科 米川 明彦先生

『マンウォッチング:人間の行動学』

デズモンド・モリス著；藤田統訳
小学館 1980年2月刊
【所在:2階大型本(和書) 請求記号:141.7IIM078】

人は言語よりも表情・視線・ジェスチャー・姿勢・対人距離・身体接触・身体装飾などの非言語の媒体によって対人感情をよく表しています。これらは文化によって国によって異なっています。本書はそれらを豊富な写真と文章で紹介した興味尽きない一冊です。



オススメ

情報メディア学科 柳田 洋一郎先生

『インターネット新世代』

村井純著
岩波書店 2010年1月刊
(岩波新書;新赤版1227)
【所在:2階「岩波新書」】

地上デジタル化でテレビが変わる。デジタルラジオが生まれる。グーグルやマイクロソフトが競いあうクラウドコンピューティングが広がる。iPhoneを先駆けにケータイが進化する。組織が変わる。世界が変わる。



オススメ

生活科学科 森下 剛先生

雑誌『Casa Brutus』

マガジンハウス
【所在:2階 電動書架(国内雑誌)
所蔵巻号:NO.86(2007.5)~継続中】

この本は、生活に深く関係する「衣・食・住」をデザインという視点から紹介しています。フード、ファッション、インテリア、サブカルチャー、アートが結び付き、新しい「衣・食・住」の始まりを知ることができます。

図書館員の オススメコーナー

▶▶▶ 3F 雑誌



図書館で一番人気(?)のスポットが、ここ3階メインフロアにある「雑誌コーナー」です。各学科の専門雑誌から、タウン誌、情報誌、そしてファッション雑誌まで、今書店で売っている最新号が並んでいます。

このコーナーに今春から「看護学科」関連の雑誌コーナーがお目見えしました。

ぜひ一度、お立ち寄りください!

オススメ

英語コミュニケーション学科 松原 正行先生

『敬語の英語:日常でもビジネスでも使える』

デイヴィッド・セン、佐藤淳子著
ジャパンタイムズ 2005年12月刊
付属資料:録音ディスク(CD1枚)
【所在:5階北 請求記号:835IITH1】

皆さんは、「You must eat it.」という文章が相手の健康を思いやる、優しさにあふれた意味だということをご存知でしたか。本書にはこのような相手に対する優しさや思いやりに満ち溢れた英語の表現が次々に紹介されています。自分は優しいと自負している皆さん、是非一読を。



オススメ

日本語表現科 大谷 伊都子先生

『子ども版 声に出して読みたい日本語』全12巻

齋藤孝編
草思社 2004年8月~2005年8月

日本の古典・近代文学、漢文、さらには言葉あそびに至るまでのさまざまなジャンルから、編者が「声に出して読みたい日本語」という観点で選び、その「さわり」を紹介したシリーズ本です。絵本として見ても楽しい。声に出して読んでも美しい。そして、格好の文学紹介にもなっています。気に入った作品に出会えたら、オリジナル本に挑戦してみてください。



図書館員のオススメコーナー

▶▶▶ 4F南 お薦め絵本コーナー

話題の新刊絵本はもちろん、和書洋書問わずさまざまな切り口で絵本を紹介しています。

1週間ごとに入れ替えをしているので、絵本選びに迷ったときはここをチェックしてみてください。



短期大学部



Essay

「高齢者の健康を考える」

梅花女子大学 看護学部 教授 河村 圭子

とある医院待合室の年寄りたちの会話。「あら、お久しぶり。しばらく来なかったね。」「せやねん、ちょっと身体の具合が悪くてね。」「せやったんや。元気やないと病院には来られへんしねえ」…とは、病院が高齢者たちの社交場と化している現状を皮肉った笑話である。しかし、単純に笑ってばかりもいられない話なのである。なぜなら本当に治療が必要な高齢者は寝たきりで家から出られず、元気で話し相手や欲しい高齢者が病院の待合室にたむろしている現象を指しており、このままでは限りある医療財政を逼迫させ、優先順位の高いところに手当が行き届かなくなってしまうことを危惧させるからである。

我が国においては、医学の進歩と共に人口に占める高齢者割合が増大し、国民医療費が年々増加している。さらに近年、国民医療費の伸びが国民所得の伸びを上回るようになり、医療における経済的負担の増加が、国家財政への負担増大に繋がっている。そのため医療費の抑制、医療の効率化、医療保険制度の財政的強化を含めた医療制度改革が必要となった。そこで、医療費の適正化を主眼に、他の健康保険等から独立した新しい医療保険制度として、2008年4月1日「長寿医療制度(後期高齢者医療制度)」が開始された。しかし医療制度改革の渦中で、高齢者の健康について十分に議論が尽くされたのだろうか。何か大切なものを見失ってはいないだろうか。

高齢者の健康とは、単に病気でない状態を意味しているのではない。高齢者が誰かとしゃべりたいと思うこと、自分の足で外出できることが重要なのだ。すなわち、積極的に人と交流しようとする意欲と、実際に自力で歩くことができる身体機能の維持が、高齢者の健康の基盤だと言えよう。加齢による身体的機能の変化や低下は、ある一定水準までは病気とは言えず、ただ「老いている」のである。老いそのものは、基本的には医学的治療の対象にはならない。高齢者が閉じこもりから要介護老人に移行しないためには、気軽に、かつ外出の目的を持って集える場が、病院以外に用意されることが必要なのである。高齢者の健康の概念は、高齢者医療制度における施策の方向性を決定づけるものでもある。

近年、健康志向ブームとでも言えばいいのか、やたらと健康器具、健康食品、健康云々といった商品が出回っている。自己の健康に対する意識が高いことは歓迎すべきである。生活習慣病患者が減り、ガン検診の受診率が高まれば、それはそれで喜ばしい。しかし、健康そのものを崇拜するようになってしまったら、行き過ぎである。人々は健康でありたいと願い、老いたくないと願い、やがて健康と若さが同じ意味を持つようになってしまったのではないだろうか。そもそも高齢者と若者とは、健康の質が違うのである。

高齢者の健康は、衰える肉体と成熟する精神を備えながら、日常生活に折り合いをつけていく営みにあると考えている。そこには知恵と創意工夫が必要であり、「生きている」のではなく「生きていく」高齢者の姿がある。

学園資料展示ホールのご案内

梅花学園の歴史は、1878(明治11)年1月開校の梅花女学校に始まります。梅花の校名は、女学校の設立にあたり梅本町教会(現在の大阪教会)と浪花教会の教会員の協力があつたことに因んだものです。

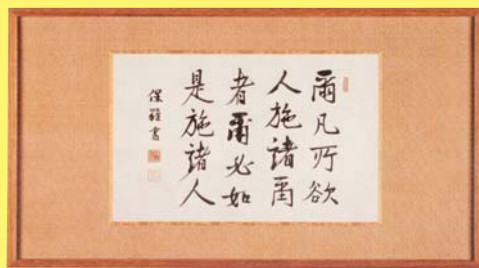
左下の写真は、創立者澤山保羅の愛誦聖句「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」(マタイによる福音書7章12節)の書です。他者への愛に生きた澤山の精神は、現在も梅花学園のスクールモットーとして受け継がれています。

学園資料展示ホールでは、132年におよぶ梅花学園のあゆみを写真、資料等により紹介しています。

常設展示「梅花学園のあゆみ」

展示場所：澤山記念館1階 学園資料展示ホール

展示時間：平日(学園休業日を除く) 9:00~16:00



愛誦聖句



創立者 澤山保羅

本学教員著作資料(2009年度ご惠贈)

(敬称略)

書名	著者	出版社	請求記号
昔話ケース・カンファレンス：発達と臨床のアプローチ	大野木裕明、後藤智子 [ほか] 著	ナカニシヤ出版	146.8IMU25
フランスの子ども絵本史	石澤小枝子、高岡厚子 [ほか] 著	大阪大学出版会	909.85IF92
Magasin d'éducation et de récréation：教育娯楽雑誌：別冊解説	石澤小枝子、私市保彦 著	アティーナ・プレス	909.019III84
たまのりおたまちゃん(おはなしえほんシリーズ：18)	高科正信作/小林美佐緒 絵	フレーベル館	絵本IKO12
世界名作再話にみられる物語の放送形態に関する構造分析的研究	畠山兆子 研究代表	[梅花女子大学]	778.7IHH41
授業実践資料集「国語科メディア学習プログラム授業実践」	松山雅子 研究代表 畠山兆子、香山喜彦 [ほか] 著	[松山雅子]	375.8IIMA91
大正期の絵本・絵雑誌の研究：一少年のコレクションを通して	三宅興子、香曾我部秀幸 編	翰林書房	909.81IIMI76
シンポジウム報告集「インドと日本の絵本」：報告集インドの絵本	三宅興子 編集長/土居安子、福本由紀子、浅野法子 編	大阪国際児童文学館	909.82IIMI76
集団語の研究 上巻	米川明彦 著	東京堂出版	814.9IY83II(1)
ことば観察にゆうもん(たくさんのふしじ傑作集)	米川明彦/祖父江慎 絵	福音館書店	絵本ISO12
身近なことばの語源辞典	西谷裕子 著/米川明彦 監修	小学館	813.6IIN86

バックナンバーのご案内

バックナンバーは、図書館カウンターにて配布中!
BLTWeb版として、ホームページでもご覧になれます。ご一読ください。

16号「かしい図書館の使い方」

17号「知っているようで知らない図書館」

18号「始めよう、読書生活」

19号「図書館で、ひと休み。」

梅花女子大学図書館

〈月～金〉8:50～17:45

〈土〉8:50～16:00

〒567-8578

大阪府茨木市宿久庄2-19-5

【図書館】

tel 072-643-8498

fax 072-643-1952

e-mail blibrary@baika.ac.jp

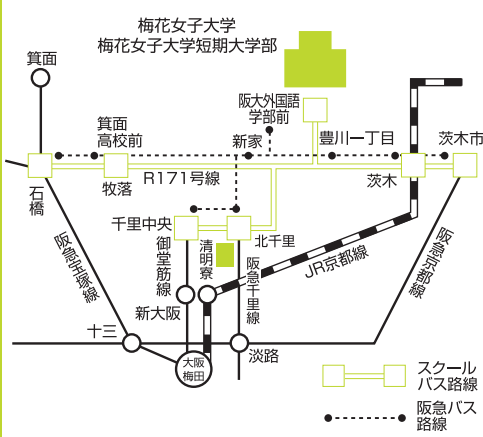
【学園資料室】

tel 072-643-8447

fax 072-643-1952

e-mail shiryo@baika.ac.jp

【交通路線図】



よもやま

●新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。ご卒業までの間、図書館とのお付き合いをよろしくお願いします。●BLT(ビーエルティ)20号をお届けします。●新学部が創設され、看護関連図書が数多く所蔵に加わりました。それにとまって、2階と5階北側の資料の配置を大幅に変更しました。また、図書館案内(Baika Library Guide)もリニューアルしました。Floor Guideのページで確認してください。ご不明な点は、カウンターまで。●新学部新学科の看護学科・河村先生から「高齢者の健康を考える」と題して今日、社会問題となっている高齢化にスポットをあてた興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。先生には5月からの展示、6月の講演会も行っていました。皆さんも是非ご参加ください。●各学科の先生方から学びに適した資料を推薦していただきました。今年2010年は、「国民読書年」。気になる本を読んでみてください。●21号の発行は10月頃を予定しています。ご期待ください。

学外の方へ

本学図書館は、高校生以上の女性の方に公開しています。ただし、大学や研究機関に所属されている方は、男女を問わず、所属機関の紹介状が必要です。これらに該当されない方は、お問い合わせください。いずれの方も来館される前にご連絡ください。